

2007 年度

## 日本計量生物学会シンポジウム

—環境・医療・医薬におけるリスク評価と管理—

主催：日本計量生物学会

後援：応用統計学会

2007 年 5 月 25 日（金）、26 日（土）

昭和女子大学（大学内 禁煙）

学園本部館 大会議室

（〒154-8533 東京都世田谷区太子堂 1-7）

学会シンポジウム事務局連絡（TEL：090-1417-3606）

アクセス（[http://www.swu.ac.jp/showa/content/c\\_access.html](http://www.swu.ac.jp/showa/content/c_access.html)）

5 月 25 日（金）14:00～16:30 チュートリアルセミナー

『疫学研究のデザインと曝露効果の推定』

5 月 26 日（土）9:05～10:05 一般講演 I

5 月 26 日（土）10:15～12:30 特別セッション

『環境・医療・医薬におけるリスク評価と管理』

5 月 26 日（土）12:30～12:45 日本計量生物学会総会 I（表彰式）

5 月 26 日（土）12:45～13:45 評議員会

5 月 26 日（土）14:00～15:20 一般講演 II

5 月 26 日（土）15:30～16:20 特別講演

『Doctors and patients behaving badly: how can we estimate treatment benefit if the randomized trial assignment is not always followed?』

5 月 26 日（土）16:20～17:10 日本計量生物学会総会 II

5 月 26 日（土）17:20～19:20 Walter 先生を囲んでの懇親会

シンポジウム参加費：正会員，後援学会員 3,000 円，非会員 5,000 円，  
学生（正会員，非会員とも）1,000 円

注意：大学入校の際、正門右手の守衛に本プログラムを提示してお入り下さい。

2007 年度

## 日本計量生物学会シンポジウムプログラム

5月25日(金) 14:00~16:30, 26日(土) 9:00~17:10

主催：日本計量生物学会

後援：応用統計学会

シンポジウム参加費：正会員，後援学会員 3,000 円，非会員 5,000 円，

学生（正会員，非会員とも）1,000 円

### チュートリアルセミナー

日時：5月25日(金) 14:00~16:30 (開場 13:00)

会場：昭和女子大学・学園本部館大会議室 (〒154-8533 東京都世田谷区太子堂 1-7)

テーマ：疫学研究のデザインと曝露効果の推定

講師：佐藤俊哉 (京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻医療統計分野)

参加費：正会員，後援学会員 2,000 円，非会員 5,000 円，

学生（正会員，非会員とも）1,000 円

### シンポジウム

09:00~09:05 開会の挨拶

日本計量生物学会会長 丹後俊郎  
昭和女子大学理事・教授 渡辺満利子

09:05~10:05 一般講演 I

座長 濱崎俊光 (大阪大学)

○土居正明(東レ株式会社・国立保健医療科学院)，高橋邦彦，西川正子，丹後俊郎  
(国立保健医療科学院)

シグナル検出のためのスキャン統計量 -FDA AERS データへの適用-

○高橋邦彦，丹後俊郎(国立保健医療科学院)

Flexible space-time scan statistic による症候サーベイランスの解析

○渡部輝明(高知大学)，岸野洋久 (東京大学)，中島典昭，奥原義保，北添康弘，  
相良祐輔 (高知大学)

糖化ヘモグロビン検査値の時系列データを用いた糖尿病の危険予測

10:05-10:15 休憩

10:15~12:30 特別セッション

『環境・医療・医薬におけるリスク評価と管理』

オーガナイザー：椿広計(筑波大学)・森川敏彦(久留米大学)

座長：椿広計(筑波大学)

0. 椿広計(筑波大学)  
セッションの主旨説明
1. 宮本定明(筑波大学)  
リスクとその基礎概念
2. 伊藤要二(アストラゼネカ株式会社)  
イレッサ・ケースコントロール・スタディによるILD 発症リスクの評価
3. 津本周作(島根大学)  
医療リスクへの計量的接近: 発見科学の立場から
4. 松本幸雄(統計数理研究所)  
環境リスクの諸側面

(お断り) 本セッションで予定されていた藤田利治氏(統計数理研究所)の演題「インフルエンザ罹患後の薬剤使用と臨床症状発現」は、早期かつ十分に時間を掛けて議論すべき重要な課題と考え、別途シンポジウムを持つ方向で検討して参りましたが、丹後会長と演者の藤田氏、オーガナイザーの椿氏、企画理事との話し合い、ならびに理事会での討議の結果を踏まえ、予定されている日本薬剤疫学会特別シンポジウム(5月20日午後東大鉄門講堂にて開催予定)を日本計量生物学会共催として実施させて頂くことにしました。プログラムが確定次第別途WEB等でお知らせ致します。なお特別セッションの冒頭で、オーガナイザーの椿先生から、薬剤疫学会特別シンポジウムに関するご報告がある予定です。

12:30~12:45 日本計量生物学会総会 I (表彰式)

12:45~14:00 昼休み (12:45~13:45 評議員会 : 学園本部館 3階中会議室)  
(注 ; 12:00~13:00 の間, 学内食堂は学生専用となるため使用できません)

14:00~15:20 一般講演 II 座長 森田智視 (名古屋大学)

- 青山淑子, 室谷健太, 柳川 堯 (久留米大学)  
対応をもつカテゴリカルデータに基づく2つの診断法の比較
- 浅川 誉, 吉村 功, 浜田知久馬(東京理科大学), 石塚直樹(国立国際医療センター)  
結果に基づき事前分布を変更するCRMの提案

○鈴木正人(グラクソ・スミスクライン株式会社), 吉村 功, 浜田知久馬(東京理科大学)  
慢性閉塞性肺疾患の経時データに対する欠測値補正法の研究

○西 次男(大阪大学)  
動的割付の評価に用いる一指標

15:20~15:30 休憩

15:30~16:20 特別講演 座長 柳川 堯(久留米大学)

Prof. Stephen Walter (McMaster University, Canada)

Doctors and patients behaving badly: how can we estimate treatment benefit if the randomized trial assignment is not always followed?

16:20~17:10 日本計量生物学会総会 II

17:10 閉会

17:20~19:20 Walter 先生を囲んでの懇親会 (学園本部館 3階中会議室)

5月24日(木)には、応用統計学会年会在下記東京工業大学にて、また25日(金)午前には、応用統計学会チュートリアルセミナー(テーマ:多重比較法、講師:早稲田大学・永田靖氏)が本シンポジウムと同会場(昭和女子大学)にて開催されます。

応用統計学会年会: 東京工業大学 大岡山キャンパス 西8号館E棟10階  
大学院情報理工学研究所 大会議室

<http://www.titech.ac.jp/home-j.html>

〒152-8550 東京都目黒区大岡山2-12-1

昭和女子大学交通案内 ([http://www.swu.ac.jp/showa/content/c\\_access.html](http://www.swu.ac.jp/showa/content/c_access.html))



チュートリアル・シンポジウム会場の「学園本部館」は、大学正門から正面に進み、左側三つ目の建物

日本計量生物学会シンポジウム運営

松井茂之 (京都大学)

松浦正明 ((財) 癌研究会)

森川敏彦 (久留米大学)

問い合わせ先

日本計量生物学会事務局

107-0062 港区南青山6-3-9 大和ビル2階

Fax : 03-5467-0482 E-mail : [biometrics@sinfonica.or.jp](mailto:biometrics@sinfonica.or.jp)

URL : <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jbs/index.html>

— 学会時のシンポジウム事務局 (090-1417-3606) —

注意事項 :

- ・ 大学入校の際、正門横守衛に本プログラムを提示してお入り下さい。
- ・ 昭和女子大学はトイレも含み学内全域禁煙ですが、外来者用に特別の喫煙場所がありますので、受付でお問い合わせください。(条例により、大学外の公道も禁煙です。)
- ・ 昭和女子大学への車の乗り入れはできません。